

御言葉の従順な管理者 テモテへの手紙二 2 章 14-19 節

本日のメッセージは、私たちが聖書と呼ぶ神の御言葉についてです。その御言葉は私たちに与えられ、本朝の聖句は、私たちが受けとった真理を管理し守るよう命じています。これは、真理を知ることの努力と、それを歪めようとする者から守ることに常に責任をもって取り組むことを意味します。まず、テモテへの手紙二 2 章 14 節から読みましょう。

テモテニ 2:14 これらのことを人々に思い起こさせなさい。そして、何の益にもならず、聞いている人々を滅ぼすことになる、ことばについての論争などをしないように、神の御前で厳かに命じなさい。

14 節で、パウロは私たちに 2 つの勧告をしています。一つ目は、**これらのことを人々に思い起こさせなさい**です。これらのことは、2 週間前にコイ兄弟が第二テモテ 2 章 8 節から 13 節のメッセージを通じて宣べ伝えた福音の真理です。パウロはテモテに、福音への献身を堅持するよう促しています。

彼は、キリストとキリストの復活、そしてキリストの御業が信じる者たちだけでなく、キリストを否定する者たちにも与える結果を思い出させるよう、彼を励ましています。パウロのテモテへの手紙は、私たちにとって、信者たちに福音の根本的な真理を常に思い出させるための導きとなる光です。**これらのことを人々に思い起こさせなさい**というフレーズは、教会内で基本的な教義を強化し、信仰の基盤を固めることの重要性を強調しています。しかし第二に、パウロは彼らに無益な言葉を避けるよう命じています。彼は、真実を促進するのではなく、むしろそれから目をそらさせるような言葉の争いがあることを認識していたからです。

テトスへの手紙 3 章 9 節 一方、愚かな議論、系図、争い、律法についての論争は避けなさい。それらは無益で、むなしいものです。

パウロはテモテに、神の御前で教会に命じ、これらの無益な言葉の争いを避けるよう促しています。**神の御前で厳かに命じなさい**という表現の意義を検討する必要があります。この考えは聖書全体に貫かれています。出エジプト記で見たように、神はモーセに民を導くよう命じ、モーセの死後ヨシュアにも同じく命じました。

新約聖書に移ると、イエス様はヨハネ書 13 章 34 節から 35 節で弟子たちに互いに愛し合うよう命じ、マルコ書 10 章 44 節から 45 節ですべての人に謙虚に仕えるよう教え、ルカ書 21 章 36 節で目を覚まして祈り、備えるよう促し、マタイ書 10 章 16 節から 20 節で迫害に備えるよう命じています。そして、主は最も重要な命令である「大宣教命令」を授けています。**マタイの福音書 28 章 19-20 節 ですから、あなたがたは行って、あらゆる国の人々を弟子としなさい。父、子、聖霊の名において彼らにバプテスマを授け、20 わたしがあなたがたに命じておいた、すべてのことを守るように教えなさい。見よ。わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたとともにいます。**

新約聖書が続く中で、使徒パウロはテモテとテトスに、そして手紙の中で挨拶する教会にも同様の指示を与えるのを見ます。神の僕として、働き人として私たちは主を喜ばせることを目指し、その不承認に対する健全な畏れを持つべきです。神への畏敬の念を持つことは、神に栄光をお返しする賢明な人生を送ることを可能にします。**箴言 9 章 10 節**

主を恐れることは知恵の初め、聖なる方を知ることは悟ることである。

神の御命令は、絶対的主権を持たれる神の御心と、その民が主の贖いの御計画の働き手となることを示す深い表現です。これは信者たちに託された聖なる義務です。これには、従順、信仰、そして献身による応答が求められます。もし私たちが神の主権的な御心の中心に留まるなら、神は御臨在と恵みによって、私たちを備え、力づけ、神の御業を成し遂げるために導いてくださいます。**ピリピ人への手紙 4 章 19 節 わたしの神は、御自分の栄光の富に応じて、キリスト・イエスによって、あなたがたに必要なものをすべて満たして下さいます。'**

信仰者として、私たちはパウロの教えに倣い、言葉と行動を通じて互いを励まし合うことに焦点を当て、些細な争いを避け、常に主の愛による一致を追求するよう勧告されています。したがって、神の民として、私たちは両方の勧告に注意深く耳を傾けるべきです。

まず第一に、私たちは繰り返し福音のメッセージを聞き、信じる必要性を決して忘れてはなりません。福音は私たちの救いの手段であるだけでなく、キリストにある私たちの継続的な成長の手段でもあります。第二に、私たちは真実を擁護することと、真実から私たちをそらすだけの言葉の争いに参加することの違いを認識しなければなりません。

言葉の無駄な争いではなく、私たちはむしろ、すべての言葉の上に立つ唯一の言葉、すなわち神の御言葉に目を向けるべきです。次に第二テモテ 2 章 15 節を見てください。**15 あなたは務めにふさわしいと認められる人として、すなわち、真理のみことばをまっすぐに説き明かす、恥じることのない働き人として、自分を神に献げるように最善を尽くしなさい。**

この節で、パウロはテモテに、神の御言葉を正しく知り、教えるために努力するよう強く勧めています。彼は**真理のみことばをまっすぐに説き明かす**と言っています。パウロはテモテに、これは神の御前で行われる働きであり、神の承認を得るためのものであり、最善を行う者は神の前で恥じることなく立つことができることを知ってほしいと願っています。神に認められた働き人とは、神の御言葉を熱心に用いて、キリストの復活と福音について、兄弟姉妹に繰り返し思い出させ、無益な争いを避けるよう命じる者です。

イエスを信じるすべての者にとって、2 テモテ 2 章 15 節は、真理の管理責任に関する重要な戒めであり、私たちが神の真理を知り、実践する努力に勤勉であることがいかに重要であることを示しています。聖書は信仰と実践の最終的な指針であり、信者はこの神聖な啓示の神の管理者として召されています。**コリント人への手紙第一 4 章 2 節** **その場合、管理者に要求されることは、忠実だと認められることです。**

信者には、霊的な理解と管理の責任への完全な献身が求められます。キリスト教の管理の責任とは、神が私たちに委ねたものを神にお返しすることです。信者は、神から与えられた恵みを賢く管理することで、この責任を果たします。神は、私たち全員が神に仕えることができるように、私たちが神の目的のために備えてくださいます。

エペソ人への手紙 4 章 11-12 節 **こうして、キリストご自身が、ある人たちを使徒、ある人たちを預言者、ある人たちを伝道者、ある人たちを牧師また教師としてお立てになりました。12 それは、聖徒たちを整えて奉仕の働きをさせ、キリストのからだを建て上げるためです。**

主は私たちに御霊の実を授けてくださいます。

ガラテア人への手紙 5 章 22-23 節 **しかし、御霊の 23、愛、喜び、平安、寛容、親切、善意、誠実、23 柔和、自制です。このようなものに反対する律法はありません。**

彼は私たちに才能を与えてくれます。**ヤコブの手紙 1 章 17 節** **すべての良い贈り物、またすべての完全な賜物は、上からのものであり、光を造られた父から下って来るのです。父には、移り変わりや、天体の運行によって生じる影のようなものではありません。**

神は私たちに経済的な安定を授けてくださいます。**申命記 8 章 18 節** **あなたの神、主を心に据えなさい。主があなたに富を築き上げる力を与えるのは、あなたの父祖たちに誓った契約を今日のように果たされるためである。**

そして、彼は私たちにこの地上での彼の御業を行うための時間を与えてくださいます。**伝道者の書 3 章 1-2 節** **すべてのことには定まった時期があり、天の下すべての営みに時がある。2 生まれるのに時があり、死ぬのに時がある。植えるのに時があり、植えた物を抜くのに時がある。**

人生のすべては神から与えられた管理者としての責任であり、御言葉は、私たちが責任を負う他のすべての管理の責任の基盤となるものです。その管理責任は、15 節において明確に示されています。

15 あなたは務めにふさわしいと認められる人として、すなわち、真理のみことばをまっすぐに説き明かす、恥じることのない働き人として、自分を神に献げるように最善を尽くしなさい。真理の御言葉をまっすぐ解き明かす時、あなたは働き人として認められます。この節は、御言葉を正しく解き明かし、正しく教え、歪曲されないようにすることの重要性を強調しています。神の御言葉の管理には、その教えに従って生きること含まれます。ヤコブ 1 章 22 節から 25 節は、単に聞く者ではなく、御言葉を行う者となる必要性を強調しています。

ヤコブの手紙 1 章 22-25 節 **みことばを行う人になりなさい。自分を欺いて、ただ聞くだけの者となっ**
てはいけません。23 みことばを聞いても行わない人がいるなら、その人は自分の生まれつきの顔を鏡で眺める人のようです。24 眺めても、そこを離れると、自分がどのようであったか、すぐに忘れてしまいます。25 しかし、自由をもたらす完全な律法を一心に見つめて、それから離れない人は、すぐに忘れる聞き手にはならず、実際に行う人になります。こういう人は、その行いによって祝福されます。

この箇所は、信者たちに聖書の原則を日常生活において実践するよう召しています。信者であり、神の御言葉の管理者として、私たちは生活の変化を通じて信仰を体現します。私たちは、神の御言葉を学び、その小さな御声に耳を傾けながら御心を求め、主を喜ばせるために行動することで、信仰を

実践しています。神はイザヤ書 43 章 10 節で私たちにこう言われました。**10 わたしの証人はあなたたち わたしが選んだわたしの僕だ、と主は言われる。あなたたちはわたしを知り、信じ理解するであろう わたしこそ主、わたしの前に神は造られず わたしの後にも存在しないことを。**

主イエスはヨハネの福音書 14 章 16 節で私たちに約束されました。

ヨハネの福音書 14 章 16 節 **そしてわたしが父にお願いすると、父はもう一人の助け主をお与えくださり、その助け主がいつまでも、あなたがたとともにいるようにしてくださいます。**

主は私たちに任務を委ねられました。それはとても厳粛にうけとめるべき責任です。神の御言葉の管理の一環として、私たちは主の証人となり、イエス・キリストの福音を広める使命を負っています。**使徒の働き 1 章 8 節** **しかし、聖霊があなたがたの上に臨むとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリアの全土、さらに地の果てまで、わたしの証人となります。ペテロの手紙第一 3 章 15 節** **むしろ、心の中でキリストを主とし、聖なる方としなさい。あなたがたのうちに希望について説明を求める人には、だれにでも、いつでも弁明できる用意をしておきなさい。**これらの聖句は、信仰を分かち合うことの重要性、伝道の召命、そして証しにおける聖霊の役割を教えています。神は私たち一人一人に独自の役割を与えてくださいました。あなたが長老であれ、説教者、日曜学校の教師、執事、奉仕者、祈りの戦士、またはあなたが何であれ、何をしようとして、神の栄光のために、主の霊に頼りながら、信仰によってすべてを行いなさい。神の御言葉の管理者として、私たちは信仰を積極的に分かち合い、イエス様が私たちをどのように変えてくださったかを他の人たちに伝える神の証人となることを求められてもいます。昔よく歌った讃美歌にあるように、神の聖なる御言葉の救いのメッセージを聞いたことがない人たちがいるので、私たちはイエス様と主の愛の証をすすんでしなければならないのです。

パウロも、私たちの働きがいつか審査される日があることを教えています。**コリント人への手紙第一 3 章 13-15 節** **それぞれの働きは明らかになります。「その日」がそれを明るみに出すのです。その日は火とともに現れ、この火が、それぞれの働きがどのようなものかを試すからです。14 だれかの建てた建物が残れば、その人は報いを受けます。15 だれかの建てた建物が焼ければ、その人は損害を受けますが、その人自身は火の中をくぐるようにして助かります。**

したがって、私たちの神の御言葉への忠実さは試されるでしょう。そして、ある者は認められ、ある者は認められないでしょう。ある者には、彼はこう言われるでしょう。**忠実な良い僕だ。よくやった。**

そして、他の人々にはこう言われるでしょう。**怠け者の悪い僕だ。'**

しかし、私たちに委ねられたこの御言葉に忠実であろうとする時、サタンは私たちの道に障害となる者を置きます。それは、私たちが神の御言葉をまっすぐに解き明かすことを妨げるためです。16-18 節を見てください。**16 俗悪な無駄話を避けなさい。人々はそれによってますます不敬虔になり、17 その人たちの話は悪性の腫れもののように広がります。彼らの中に、ヒメナイとピレトがいます。18 彼らは真理から外れてしまい、復活はすでに起こったと言って、ある人たちの信仰をくつがえしています。**

テモテは真理を知るだけでなく、真理を否定したり歪曲したりする者たちから遠ざかるよう命じられています。偽りの教師や教えの中には、対峙すべきものもありますが、歪曲の性質上、単に避けるべきものもあります。パウロは手紙の至る所でこの点について述べています。

テモテへの手紙第一 1 章 3-4 節 **私がマケドニアに行くときに言ったように、あなたはエペソにとどまり、ある人たちが違った教えを説いたり、4 果てしない作り話と系図に心を寄せたりしないように命じなさい。**

テモテへの手紙第一 6 章 20 節 **テモテよ、委ねられたものを守りなさい。そして、俗悪な無駄話や、間違っ**

テトスへの手紙 3 章 10 節 **分派を作る者は、一、二度訓戒した後、除名しなさい。**

パウロは、このような真理の歪曲から、神に背く結果をもたらす破滅的な結末が生じると明確に述べています。そして、それは病気のように他者に急速に広まる可能性があります。パウロは具体的な例を挙げ、真実から逸脱し、復活が既に起こったという偽りの教えに加担した二人の男性を名指ししています。

この世には多くの誤りや偽りの教義が蔓延しています。私たちは、テモテとテトスへの手紙の助けと励ましを借りて、キリストにある家族を戒め、励ますために、御言葉の用い方に努めなければなりま

せん。そうすることで、私たちは神にふさわしいと認められた働き人として、恥じることのない者として、神の御前に立つことができるのです。

そして、時には誰かが偽の教師であることがすぐに明らかにならない場合もありますが、神は御自身の者を知っておられます。19 節を見てください。

ここでは、パウロは私たちの信仰の安定性と、真に神に属する者たちの安全について確信を与えています。偽りの教えと離反した者たちに関する警告の後、パウロは次のような励ましを与えます：神の堅固な基盤は揺るぎません。福音とキリストの教会は滅びません。その後、彼はこの基盤として示される二つの印を提示します。パウロは、神が御自身の民を知っておられ、私たちが神に忘れられることを恐れる必要はないという確信を私たちに与えています。それが**民数記 16 章 5 節 それから、コラとそのすべての仲間とに告げた。「明日の朝、主は、だれがご自分に属する者か、だれが聖なる者かを示し、その人をご自分に近寄せられる。主は、ご自分が選ぶ者をご自分に近寄せられるのだ。」**

イエス様はヨハネ書 10 章 14-15 節で私たちに保証されています。**ヨハネの福音書 10 章 14-15 節 わたしは良い牧者です。わたしはわたしのものを知っており、わたしのものは、わたしを知っています。15 ちょうど、父がわたしを知っておられ、わたしが父を知っているのと同じです。また、わたしは羊たちのために自分のいのちを捨てます。**

主は、御自身が救いに選ばれた者を守り、保護し、支えておられます。神の民は彼に従います。パウロは、神に属する者は、彼が信者たちを完全にするため、彼に従い、不義から離れると保証しています。真の信者は忍耐し続けます。**ペリピ人への手紙 1 章 6 節 あなたがたの間で良い働きを始められた方は、キリスト・イエスの日が来るまでにそれを完成させてくださると、私は確信しています。**信仰が深まるにつれ、私たちは信仰から逸らそうとする霊的な力との絶え間ない戦いに直面していることを悟ります。神の御言葉は、この戦いのための私たちの武器となります。それは、嘘と欺瞞と戦う力を与え、私たちの決意を強める真理を提供します。神の御言葉は、私たちの霊的な鎧の重要な部分であり、信仰に堅く立つ時に防御と攻撃の両方の役割を果たします。聖書で武装すれば、試練や障害に直面しても、神の御言葉が鎖を断ち切り、私たちを解放する力を持っていることを知っています。

御言葉は神のものであり、私たちのものではありません。私たちは神の御言葉に感謝し、神が私たちに真理の管理者として任命され、神が私たちに与えてくださる神に栄光をお返しできる方法で福音宣教を行うよう命じてくださったことに感謝すべきです。しかし、私たちはイエス・キリストを通して神を知らなければ、それを成し遂げることはできません。そして、私たちは自然に神を知ることができません。ローマ人への手紙 3 章 23 節で聖書は教えています、**ローマ人への手紙 3 章 23 節 すべての人は罪を犯して、神の栄光を受けることができず、**罪は私たちを神から隔て、和解と贖いの必要性を生み出します。しかし、福音のメッセージは、イエス様が私たちの罪のために死に、再びよみがえられたということです。

コリント人への手紙第一 15 章 3-4 節 私があなたがたに最も大切なこととして伝えたのは、私も受けたことであって、次のことです。キリストは、聖書に書いてあるとおりに、私たちの罪のために死なれたこと、4 また、葬られたこと、また、聖書に書いてあるとおりに、三日目によみがえられたこと、

私たちが罪を悔い改め、イエス・キリストを信じ、彼と彼の私たちへの犠牲に信仰を置くとき、私たちは罪から救われます。**使徒の働き 3 章 19 節 ですから、悔い改めて神に立ち返りなさい。そうすれば、あなたがたの罪はぬぐい去られます。**そして、**エペソ人への手紙 2 章 8-9 節 この恵みのゆえに、あなたがたは信仰によって救われたのです。それはあなたがたから出たことではなく、神の賜物です。9 行いによるものではありません。だれも誇ることのないためです。**

私たちは、罪を悔い改める時、信仰によってイエスを受け入れます。 私たちが忠実に管理する神の御言葉は、この福音の最も偉大なメッセージが要約されたヨハネ 3 章 16 節を示してくれています。

今日、神の御言葉からこの真理を信じ、イエス・キリストを通して与えられる救いの恵みを受け入れますか。祈りましょう。

Faithful steward of the Word 2 Timothy 2:14-19

Today's message is on the Word of God, what we commonly call the Bible.

That Word has been given to us, and our passage today calls us to steward the truth that we have received. This means that we should be committed to knowing the truth and protecting it from those who try to distort it.

Let us read the passage from **2 Timothy 2:14**. *14 Remind them of these things, and charge them before God not to quarrel about words, which does no good, but only ruins the hearers.* In verse 14, Paul has two exhortations for us. The first is *Remind them of these things...* These things are the truth of the gospel, as we learned 2 weeks ago through the message heralded by Brother Koi, from 2 Timothy 2 verses 8-13. Paul reminds Timothy to stay committed to the Gospel. He encourages him to remember Christ and His resurrection and implications of Christ's work both for those who believe and for those who deny Him. Paul's letter to Timothy serves as a guiding light for us to continually remind believers of the foundational truths of the Gospel. The phrase *"Remind them of these things"* underscores the importance of reinforcing essential doctrines within the church ensuring a firm grounding in the faith. But secondly, Paul also charges them to avoid unprofitable words. He recognized that there is quarrel about words that distract from the truth rather than promoting it. *Titus 3:9 But avoid foolish controversies and genealogies and strife and disputes about the Law, for they are unprofitable and worthless.* Paul calls on Timothy to charge the church, before the face of God, to avoid these unprofitable quarrels about words.

We should look at the significance of the phrase, *charge them before God*. We see this idea throughout Scripture. As we have seen in Exodus, God charged Moses with leading his people and after him Joshua. When we come to the New Testament, we see Jesus charging his disciples to love one another in John 13:34-35, to humbly serve others in Mark 10: 44-45, to stay alert and pray to be prepared in Luke 21:36, and to be ready for persecution in Matthew 10:16-20.—And we see him give the greatest of all charges—the Great Commission. *Matthew 28:19-20 Go therefore and make disciples of all nations, baptizing them in the name of the Father and of the Son and of the Holy Spirit, 20 teaching them to observe all that I have commanded you.* As the New Testament continues, we see the apostle Paul gives charges to Timothy and Titus and to churches he greets in his letters like this one. As God's workers we must have our eyes toward pleasing our Master and have a healthy fear of His disapproval. Having a reverence for God enables us to live wisely a life that honors God. *Proverbs 9:10 The fear of the Lord is the beginning of wisdom, and the knowledge of the Holy One is insight.* God's charge is a profound expression of His sovereign will and His people to be workers of His redemptive plan. It is a sacred duty entrusted to believers. It requires a response of obedience, faith, and commitment. If we remain in the center of His sovereign will, He will equip and empower us to fulfill the divine assignments by His presence and by His provision, *Philippians 4:16 And my God will supply every need of yours according to his riches in glory in Christ Jesus.* As believers, we are called to emulate Paul's teachings by focusing on building each other up through our words and actions, avoiding trivial disputes and always seeking unity in His love. So, as the people of God we should pay careful attention to both exhortations. First, we must never forget our continual need to hear and believe the Gospel. The Gospel is not only the means of our salvation, it is also the means for our continued growth in Christ. Second, we must recognize the difference between defending the truth and participating in word-wars that only distract us from the truth.

Rather than useless wars over words, we should instead turn our attention to the one Word that is above all others, the Word of God. Look next at verse 15. **15 Do your best to present yourself to God as one approved, a worker who has no need to be ashamed, rightly handling the word of truth.** In this verse Paul calls on Timothy to work hard to know and teach the Word of God rightly. He says, rightly handling the word of truth. He wants Timothy to know that this is work that is done in the presence of God, for His approval and that those who do it well can stand before God without shame. A worker approved to God is one who uses His Word in diligence to remind repeatedly the fellow believers of Christ, about His resurrection and the Gospel, and charges them to avoid unprofitable quarrels. For all believers of Jesus, 2 Timothy 2:15 is an important reminder of our stewardship of the truth and of how important it is for us to be diligent in our effort to know and apply the truth of God. The Scriptures serve as the ultimate guide for faith and practice, and believers are called to be God's stewards of this divine revelation. **1 Corinthians 4:2 says 2 Moreover, it is required of stewards that they be found faithful.** It requires the believers spiritual understanding and full commitment to stewardship. Christian stewardship is the giving back to God what He has entrusted us. Believers accomplish this by being wise managers of the gifts that God has given to them. God makes sure we can all serve Him by preparing us for His purpose. **Ephesians 4:11-12 And he gave the apostles, the prophets, the evangelists, the shepherds and teachers, 12 to equip the saints for the work of ministry, for building up the body of Christ,** He blesses us with the fruits of the Spirit. **Galatians 5:22-23, But the fruit of the Spirit is love, joy, peace, patience, kindness, goodness, faithfulness, 23 gentleness, self-control; against such things there is no law.** He gives us talents, **James 1:17. Every good gift and every perfect gift is from above, coming down from the Father of lights, with whom there is no variation or shadow due to change.** God blesses us with financial stability. **Deuteronomy 8:18, 18 You shall remember the Lord your God, for it is he who gives you power to get wealth, that he may confirm his covenant that he swore to your fathers, as it is this day.** And He gives us the time to do His work here on earth. **Ecclesiastes 3:1-2. For everything there is a season, and a time for every matter under heaven:2 a time to be born, and a time to die; a time to plant, and a time to pluck up what is planted;** All of life is a stewardship we are given by God, and His Word is a foundational stewardship of all the others that we are accountable for.

We see that accountability for that stewardship in verse 15. **15 Do your best to present yourself to God as one approved, a worker who has no need to be ashamed, rightly handling the word of truth.** When you rightly handle the Word of truth, then you are approved as a workman. This verse underscores the importance of rightly dividing the Word, ensuring that it is taught correctly and without distortion. Stewardship of God's Word also involves living in accordance with its teachings. **James 1:22-25** emphasizes the necessity of being doers of the Word, not merely hearers. **But be doers of the word, and not hearers only, deceiving yourselves. 23 For if anyone is a hearer of the word and not a doer, he is like a man who looks intently at his natural face in a mirror. 24 For he looks at himself and goes away and at once forgets what he was like. 25 But the one who looks into the perfect law, the law of liberty, and perseveres, being no hearer who forgets but a doer who acts, he will be blessed in his doing.** This passage calls believers to embody the principles of Scripture in their daily lives. As believers and stewards of His Word, we demonstrate what we believe through lifestyle changes. We live out our faith by studying the Word, seeking His will as we listen to His still small voice, and act to please the Master. God said to us in **Isaiah 43:10 "You are my**

witnesses,” declares the Lord, “and my servant whom I have chosen, that you may know and believe me and understand that I am he. Before me no god was formed, nor shall there be any after me. The Lord Jesus promised us in John 14:16 *And I will ask the Father, and he will give you another Helper, to be with you forever,*

The Lord entrusted us with a task, a serious and solemn responsibility. Part of our stewardship of God’s Word is that we are to be His witnesses to tell the Good News of Jesus Christ. *Acts 1:8 “But you will receive power when the Holy Spirit comes on you; and you will be my witnesses in Jerusalem, and in all Judea and Samaria, and to the ends of the earth.” 1 Peter 3:15 “But in your hearts revere Christ as Lord. Always be prepared to give an answer to everyone who asks you to give the reason for the hope that you have.”* These verses tell us the importance of sharing faith, the call to evangelism, and the role of the Holy Spirit in witnessing. God has given each of us a unique part. You may be an elder, a preacher, a bible study teacher, a deacon, a ministry worker, a prayer warrior, or whatever you are and do, do everything in faith relying on His Spirit for the glory of God. The stewardship of God’s Word requires us to actively share our faith by being His witness to tell others how Jesus has changed us as we placed our faith in Him. We should love to tell the story of Jesus and His love because as the old hymn says, for some have never heard the message of salvation from God’s own holy Word. Paul also tells us how one day there will be an inspection of our work. *1 Corinthians 3:13-15 each one’s work will become manifest, for the Day will disclose it, because it will be revealed by fire, and the fire will test what sort of work each one has done. 14 If the work that anyone has built on the foundation survives, he will receive a reward. 15 If anyone’s work is burned up, he will suffer loss, though he himself will be saved, but only as through fire.* So, our faithfulness with God’s Word will be tested, and some will be approved, and some will not be. To some He will say, *Well done, good and faithful servant.* and to others He will say, *You wicked and slothful servant!*

But as we seek to be faithful with this word that is entrusted to us, there are those Satan places in our path to keep us from being handling the Word of God well. Look at verse 16. *16 But avoid irreverent babble, for it will lead people into more and more ungodliness, 17 and their talk will spread like gangrene. Among them are Hymenaeus and Philetus, 18 who have swerved from the truth, saying that the resurrection has already happened. They are upsetting the faith of some.* Not only must Timothy know the truth, but he is also instructed to avoid those who contradict or falsify the truth. While there are some false teachers and teachings that should be confronted with, there are some that should simply be avoided because of the nature of distortion. Paul speaks of this throughout his letters. *1 Timothy 1: 3 As I urged you when I was going to Macedonia, remain at Ephesus so that you may charge certain persons not to teach any different doctrine, 1 Timothy 6:20 O Timothy, guard the deposit entrusted to you. Avoid the irreverent babble and contradictions of what is falsely called “knowledge,” Titus 3:10 As for a person who stirs up division, after warning him once and then twice, have nothing more to do with him,* Paul makes it clear that there will be disastrous results that lead to ungodliness from this kind of distortion of the truth. And it can spread quickly like a disease to others. Paul offers a specific example and names two men who have swerved from the truth and participated in this kind of false teaching that the resurrection had already taken place. With so much error and false doctrine in the world, we must be diligent in the use of the Word to remind and charge our family in Christ

with the help and encouragement of the letters to Timothy and Titus so that we can present ourselves approved to God as workers who do not need to be ashamed.

And while sometimes it may not be immediately clear that someone is a false teacher, God knows who are his. Look at verse 19. *19 But God's firm foundation stands, bearing this seal: "The Lord knows those who are his," and, "Let everyone who names the name of the Lord depart from iniquity."* Here Paul offers assurance about the stability of our faith and the security of those who truly belong to God. After these warnings about false teaching and those who have fallen away, Paul gives this encouragement: God's firm foundation stands. The Gospel and Christ's Church will not fall. Then he offers two seals that are revealed as this foundation. Paul gives us the assurance that God knows His people and that we need not fear being forgotten by Him. This is from *Numbers 16:5. In the morning the Lord will show who is his, and who is holy, and will bring him near to him. The one whom he chooses he will bring near to him.* Jesus assures us in *John 10:14-15. I am the good shepherd. I know my own and my own know me, 15 just as the Father knows me and I know the Father; and I lay down my life for the sheep.* The Lord defends, protects and upholds who He has elected to salvation. God's people will obey Him. Paul assures us that those who are God's, will live in obedience to Him and depart from iniquity since He perfects His believers. True believers will persevere. *Philippians 1:6 And I am sure of this, that he who began a good work in you will bring it to completion at the day of Jesus Christ.*

As we grow in our faith, we realize that we are in constant battle against spiritual forces that seek to derail us from our faith. The Word of God becomes our weapon in this warfare. It empowers us to fight against lies and deception, offering the truth that strengthens our resolve. The Word is the vital part of our spiritual armor, giving us defense and offense as we stand firm in faith. Armed with Scripture, we can confront challenges and obstacles, knowing that God's Word has the power to break chains and set us free.

The Word is God's and not ours. We should praise God for His Word and thank Him for charging us to be His stewards of the truth to proclaim the Gospel in ways He enables us to glorify Him. But we can only do that if we know him through Jesus Christ. And we don't know him naturally. The Bible teaches in *Romans 3:23, for all have sinned and fall short of the glory of God,* Sin separates us from God, creating a need for reconciliation and redemption. The message of the gospel though is that Jesus died and rose again for our sin. *1 Corinthians 15:3-4, For I delivered to you as of first importance what I also received: that Christ died for our sins according to the Scriptures, that He was buried, that He was raised on the third day according to the Scriptures.* When we repent of our sins and believe in Jesus Christ by putting our faith in him and his sacrifice for us, we are saved from our sin. *Acts 3:19 says, Repent, then, and turn back, so that your sins may be wiped away.* And *Ephesians 2:8-9: For it is by grace you have been saved through faith, and this not from yourselves; it is the gift of God, not by works, so that no one can boast.* We accept Jesus by faith when we repent of our sins. The Word of God that we faithfully steward shows us the greatest message of all in this gospel summarized in *John 3:16, For God so loved the world that He gave His one and only Son, that everyone who believes in Him shall not perish but have eternal life.* Will you believe this truth from God's Word today and accept the gift of salvation through Jesus Christ? Let us pray.